

Alameda County Behavioral Health Care Services

薬剤情報シート：抗うつ薬 (Antidepressants)

- | | |
|----------------------------------|------------------------------------|
| [] フルオエグゼチン (Prozac = プロザック) | [] サートラリン (Zoloft = ゾロフト) |
| [] パロエグゼチン (Paxil = パクシル) | [] プロトリップチリン (Vivactil = ヴィヴァクチル) |
| [] アミトリピチリン (Elavil = エラヴィル) | [] ノートリップチリン (Pamelor = バメロール) |
| [] クロミプラミン (Anafranil = アナフラニル) | [] ドクセビン (Sinequan = サイネクアン) |
| [] デシプラミン (Norpramin = ノープラミン) | [] イミプラミン (Tofranil = トフラニル) |
| [] フェネルジン (Nardil = ナーディル) | [] ネファゾドーン (Serzone = サーザーン) |
| [] トランゾドーン (Desyrel = デシレル) | [] ブボピオン (Wellbutrin = ウエルブトリン) |
| その他：_____ | |

抗うつ薬はうつ病の治療に用いられ、全体的な気分、集中力、睡眠および食事のパターン、身体的活動を改善することができる。さらに、これらの薬剤は不安障害の軽減に有効である。抗うつ症状を持つ患者の10人中8、9人は現在市場に出ている抗うつ薬の使用により症状を軽減することができると推定されている。

抗うつ薬はいずれも有効であるが、特定の患者に対する効果には差を生じ得る。すなわち、あるクラスの薬剤はある人には著効があるが、別の人には別のクラスの薬剤がより有効なこともあります。すべての薬剤と同様に、抗うつ薬にも副作用がある。

一般的副作用

- 便秘
- 眠気
- めまい
- 口内乾燥
- 不安感／いらだち*
- 頭痛
- 不眠*

時おり生じる副作用

- 目のかすみ
- 落ち着きがなくなる／動搖
- 体重増加
- 太陽光に対し皮膚が敏感になる
- 食欲減退
- 性欲減退
- 吐き気

まれに生じる副作用

- 錯乱
- 異常心拍
- 発作
- 震え
- 発語困難
- 機能こう進

抗うつ薬の効果は徐々に現われ、完全な効力を発揮するまでに数週間かかることがあるので、あせらないこと。気分が良くなるまでに時間がかかるこことを覚悟すること。

また、これらの薬剤は定期的に服用しないと効果が現われないことを覚えておくこと

12/96ddp